

宮城野区扇町における 物流拠点整備事業について

2013年1月28日

仙台コカ・コーラボトリング株式会社

1. 仙台コカ・コーラボトリング株式会社について

■ 会社概要

・商号	仙台コカ・コーラボトリング株式会社
・本社所在地	仙台市青葉区一番町2丁目7番12号 グリーンウッド仙台一番町ビル
・設立年月日	1962年(昭和37年)6月19日
・資本金	11億4,150万円
・従業員数	1,052名(2012年1月現在)
・事業内容	清涼飲料水の製造・販売
・販売地域	宮城県・福島県・山形県
・売上高	543億円(2011年度)
・代表者	代表取締役会長 亀井 昭伍 代表取締役社長 鈴木 恭 代表取締役副社長 亀井 昭男

1. 仙台コカ・コーラボトリング株式会社について

■ 事業概要

・1962年(昭和37年)6月19日仙台飲料株式会社を設立、
同年11月12日には仙台市宮城野区扇町を拠点として営業を開始、
昨年創業50周年を迎えました。

・以来、宮城、福島、山形を販売地域として、多彩な清涼飲料水の製造・販売を通じて、
地域の皆様に気持ちや暮らしを彩る「さわやかさ」をお届けしてまいりました。

・全国でも有数な生産能力を誇る弊社蔵王工場を製造拠点とし、当社販売地域(宮城、福島、
山形)をはじめ、北は北海道、南は九州に至る日本全国に、製品を供給しております。

■ グループ会社4社事業概要

仙台コカ・コーラプロダクツ株式会社
・コカ・コーラ製品の製造、供給

さわやか自販機サービス株式会社
・自社の整備センターを有し、各種
自動販売機の整備、修理及び設置
販売、保守業務

さわやか物流株式会社
・製商品の納品、荷役業務
・自動販売機をはじめとする
機器運搬、設置、撤去

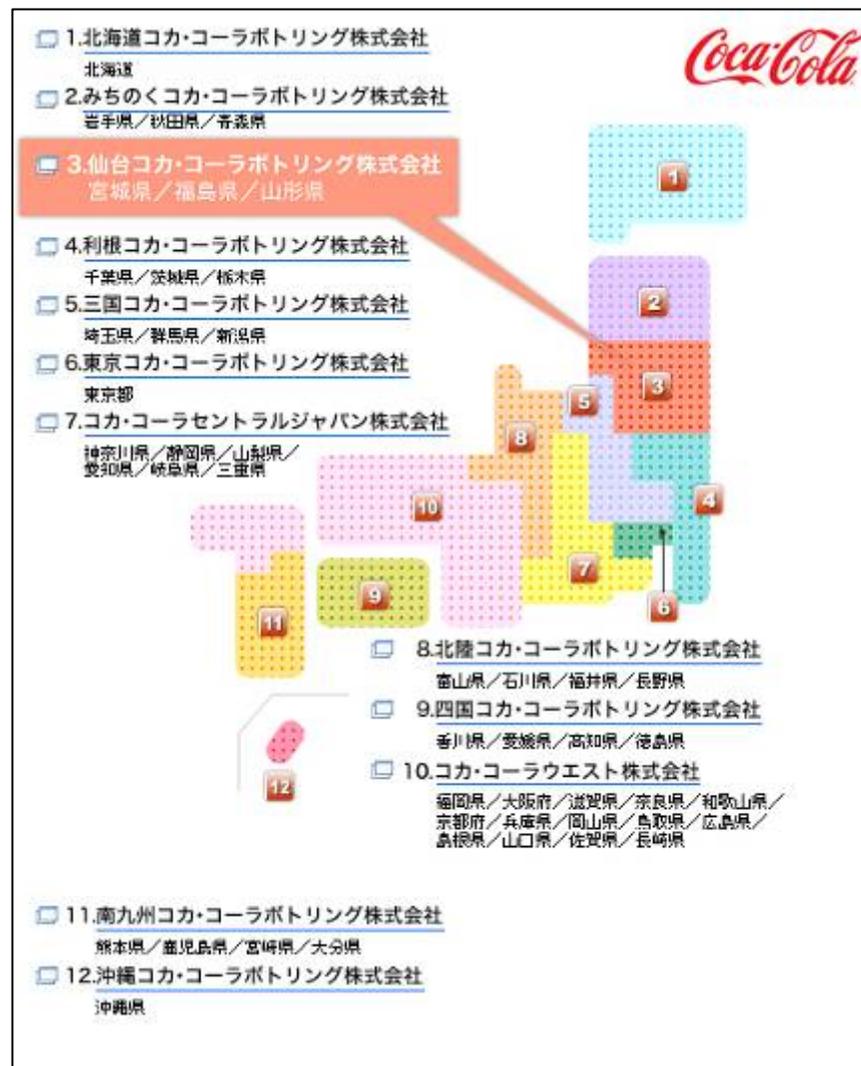
仙台ビバレッジ・ネットワーク株式会社
・自動販売機のオペレーター業務
及び病院カードシステム事業、
売店運営事業

1. 仙台コカ・コーラボトリング株式会社について

■ 日本のコカ・コーラシステム

・日本のコカ・コーラシステムは、原液の供給と製品の企画開発や広告などのマーケティングを行う日本コカ・コーラ株式会社と、全国各地域で製品の製造・販売を行う12のボトリング会社で構成されております。

・仙台コカ・コーラボトリング株式会社は、全国にある12のボトリング会社の一つにあたり、日本コカ・コーラ株式会社と原液供給等のフランチャイズ契約を結び、宮城県・福島県・山形県でコカ・コーラ社製品の製造・販売を行っています。



1. 仙台コカ・コーラボトリング株式会社について

■ 蔵王工場概要

(1)蔵王工場(製造設備)、5ライン稼動

・ペット	500ml～2,000mlペットボトル飲料を製造
・缶	160ml～500ml缶飲料を製造
・ポストミックス	2ガロン～5ガロンタンク製品を製造
・大型無菌	2,000mlペットボトル飲料を製造
・小型無菌	280ml～500mlペットボトル飲料を製造



(2)蔵王工場(隣接倉庫)、2棟稼動

・第2製造棟	延床面積2,300坪、平置倉庫
・第3製造棟	延床面積7,500坪、3階建平置多層階倉庫

(3)蔵王資源物リサイクルセンター

- ・蔵王工場の南西方向に隣接、当社管理の自動販売機脇に設置しております「空容器回収BOX」から回収したビン、缶、ペットボトル等の空容器を材質毎に選別、再資源化を促進

2. 物流拠点整備事業概要について

■ 物流拠点・事業内容

・工事名	(仮称)仙台コカ・コーラボトリング株式会社 仙台物流センター
・工事地点	仙台市宮城野区扇町一丁目1-33
・工事期間	平成24年12月～平成25年8月
・工事費	12億円
・工事内容	事務所兼倉庫(物流施設)新築工事
・業種	飲食料品卸売業
・施行規則 第2条に規定 する該当業種	⑦貨物物流の効率化、円滑化及び適正化に関する事業
・予定出荷額	80億円
・予定従業員数	当社従業員174人、関係会社(2社)80人、合計254人

2. 物流拠点整備事業概要について

■ 仙台物流センター設備投資概要

・敷地面積	18,803.15㎡（5,687.95坪）
・述床面積	7,365.75㎡（2,229.04坪）
・構造・階数	鉄骨造2階建て
・最高高さ	10.85m



2. 物流拠点整備事業概要について

■ 仙台物流センター仕様

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により全壊した旧本社・物流拠点の被災の教訓踏まえ、以下のバックアップ機能を追加設備する予定であります。

(1) グループ企業によるガソリンスタンドの併設

震災時対応型のガソリンスタンドを併設し、停電時においても燃料供給が可能な環境を整え、災害時における供給体制を確保いたします。

(2) 自家発電装置及び太陽光発電装置の設置

震災等の停電時において、非常用発電機を起動させ、バッテリーフォークリフトの充電、一部照明やコンセントの利用を可能にし、出荷機能を維持させる想定です。

(3) 非常用水

受水槽に常時16tの水を貯留し、物流センター従業員3日分の生活水を賄う想定です。

(4) 電気自動車対応

電気自動車やプラグインハイブリッドカーへの充電装置を設ける想定です。

3. 物流拠点再編成による効果について

物流拠点配置【再編成前】



物流拠点配置【再編成後】



仙台支店	蔵王工場
仙北OPセンター	
仙塩OPセンター	
泉七北田倉庫	

仙台物流センター	蔵王工場

3. 物流拠点再編成による効果について

■ 仙台物流センター概要

震災により離散した各物流拠点及び関連会社を仙台物流センターに再編成

(1) 本社機能

現在の青葉区一番町を継続

(2) 4営業所を統合

旧仙台中央営業所、旧仙台東営業所
旧仙台北営業所、旧塩釜営業所を統合、
扇町物流拠点に仙台支店を設置

(3) 関連会社2社

泉区七北田の仮倉庫で稼働中のさわやか
物流社、仙台ビバレッジ・ネットワーク社の
2社を扇町物流拠点に再結集

■ 物流拠点再編成に伴う期待効果

(1) 仙台市を中心とする広域仙台圏のお客様ニーズに迅速に対応できる体制の確立

(2) 輸送距離・輸送時間の短縮、効率化

(3) 大型トレーラーの輸送回数増加に伴う輸送効率の改善、CO2の15%削減

(4) 在庫管理業務集約・改善に伴うキャッシュフロー改善

(5) 蔵王工場と連動した拠点配置及び扇町の好立地を生かした災害時における被災地への物資供給体制の強化

(6) バックアップ機能を備えた設備投資を行うことによる災害時における供給体制の強化

4. 地域貢献活動について

■ これまでの取り組み事例

(1) 震災対応

- ・自治体等からの要請や救援が必要な地域への支援として、約46万本の製品を供給(2011年3月11日)
- ・災害対策自販機では約2.7万本の製品の無償提供を順次実施(2011年4月4日時点)
- ・蔵王工場にて、3月23日までの6日間、蔵王町をはじめ、陸上自衛隊、消防団の給水支援の為、緊急時の飲料水供給口から計75万トンの井水の無償提供を実施(2011年3月18日)
- ・当社全社員(400人)宮城県七ヶ浜町被災地にてボランティア活動に参加
- ・被災地の公立小中学校への太陽光発電及び蓄電池の設置による復興支援

(2) スポーツ支援活動

- ・さわやか一輪車競技大会をはじめ、全日本少年サッカー大会など、さまざまなスポーツ大会を開催・協賛を実施し、スポーツの普及と子供たちの健やかな教育を支援

(3) 文化支援活動

- ・国際性豊かな青少年を育てるために、1963年より全日本中学校弁論大会を協賛
- ・経済上の理由により大学進学が困難な事情のある、向学心あふれる成績優秀な高校生を対象に奨学金を授与し、これまでに全国約1,800人の卒業生を支援

(4) 環境活動支援活動

- ・地域の皆様とともに、森に学び、森が育む水や自然を、未来を担う子供たちのために守って生きたいという願いを込めて、2006年より製造工場の水源地である白石蔵王地区で森に木を植える活動「うるおいの森づくり」を開始

5. 最後に

「地域の発展なくして、当社の成長はあり得ない」の基本理念のもと、地域社会に関わる全ての人々が爽やかでうるおいのある快適な生活を送れますように、グループ会社4社と一体となって、日々積極的に活動をしてまいります。